

高瀬川だより

NPO法人京都高瀬川繁栄会報
編集人 田村佐起三

〒604-1800-1
京都市中京区木屋町通三条上ル
電話 (075) 222-1181

《慢心か危機感か？未来は？》

史上最高益を計上したトヨタの社長が内燃機主導の時代は終焉を迎えると危機感を露にされ「私と会社に温度差がある」と話された。又、株主総会では「百年先も生き残り自動車業界を先導したい」と表明された。

私はちりめん洋服の「さきぞう」創業時に百貨店やファッションビルを市場としたが先輩デザイナー達の撤退を目の当たりにして、市場を専門店への受注生産へシフトした時、社員の反対に遭った。又、商標を貸与の上、受注生産にシフトした時も社員の反対に遭った。創業45周年を機にちりめん洋服屋を極端に興味の世界に縮小し、不動産投資賃貸業にシフトし「さきぞう」は現在生き残り子息に継承させました。

京都国立近代美術館

8月29日～10月8日

《生誕百年 東山魁夷展》

東山魁夷は清澄で深い情感をたたえた風景画により戦後の日本画の世界に大きな足跡を残しました。自然と真摯に向き合い思索を重ね創りあげた芸術世界は、日本人の自然観や心情までも反映した普遍性を有するものとして評価されています。

私の本棚 おすすめの一冊 粉川 剛

《未完の占領改革／油井大三郎著》

歴史修正主義の視点⑩

「坂本龍馬や武田信玄が歴史教科書から消える」という昨年の報道をご記憶の方も多いと思う。提言は「高大連携歴史教育研究会」による。同会は歴史の暗記偏重から思考力の育成を目指す授業への転換を目指し、高校・大学の教員らの呼びかけで発足した民間団体で、教科書執筆者も含まれている。削除とは反対に旧日本軍による組織的犯罪の誤解を与えかねない「従軍慰安婦」やその証拠が曖昧な「南京大虐殺」、「逆コース」基地反対闘争等を採用するように提言。特定の思想を強く感じる。本書は同会の油井会長による。本書で油井氏は敗戦後、左翼アメリカ知識人グループが行おうとした日本の徹底した民主化(非共産化)は不十分であり占領改革は未完であると主張。日本人による下からの「精神革命」を説いている。歴史教育が心配である。

土口哲光和尚の説法

《北の大地に原点を訪ねて》

「集治監」とは、聞きなれない名称だが、旧制の刑務所。明治中期の北海道は北の大地に設立された樺戸集治監、網走監獄に数千人の被収容者が本土から送られ、道路の施設、炭坑などで使役を科せられた。道内開拓に国は安い賃金のもと確保した貴重な労働力であったという。今の刑務所とは天と地、地獄と極楽の大差である。当時の過酷な施設へ既に僧侶・牧師の教誨師が身を賭しての改善更生への手を差し伸べていた。厳寒の季節が長く続くので被収容者にとっては、豪雪を厭わず施設へ通う教誨師を「春風」のように思い迎えた、と記録されている。その原点を観るとの趣旨で、新装の旭川刑務所で全真言宗教誨師大会が開催。教誨師の使命は、継続して果たされている。

季節の家庭料理 田村 真紀

《八月 トウモロコシとひき肉の落とし揚げ》

盛夏に最も甘くなるトウモロコシは食物繊維や疲労回復に効くビタミンB2等を豊富に含みます。

とうもろこし一本(皮つきのままレンジで五分加熱し、皮をむき、芯との境目に包丁を入れ粒を取る)・鶏挽肉二百五十グラム・木綿豆腐一丁・卵一個・塩小匙二分の一・黒いりごま大匙一・片栗粉大匙三半・大根おろし、ポン酢適量・揚げ油
豆腐はよく水切りをしておく。豆腐をボウルに移し細かくつぶす。挽肉、トウモロコシ、卵、塩、ゴマをよく混ぜ合わせ、さらに片栗粉を入れ混ぜタネを作る。油を百七十度に熱し、スプーン二本でタネを一口大に丸め、きつね色になるまで揚げ。大根おろしとポン酢を合わせたものを添える。

つれづれの記 山崎 辰巳

《チームワーク》

この六月から七月にかけて行われたサッカーワールド杯に世界中が沸いた。サッカーの試合展開は約90分の間、絶えず攻守が入れ代わり、得点を競い積み重ねる競技であり、他のスポーツと違って瞬時に一発逆転できない競技だ。